

座席替えの原則についての説明

「せんせ〜い！座席替え〜！」と巢の中のツバメの子のように叫ぶ諸君！うるさいよ。新学期早々、まだ3日か4日ぐらいしかたっていない頃から叫び続けていた諸君！そんなにしたけりゃ、やってやろうじゃないの。がたがた騒ぐんじゃねえ！（以上、遠山の金さん風。何、遠山の金さんを知らない？この桜吹雪が目に入らねえかあ！）

さて、座席替えは皆さんにとっても楽しみであるとともに、担任にとっても楽しみであります。そしてまた、担任の権限でもあります。みなさんの態度が悪ければ、「即4月5日の時のように出席番号順にします。」といったくらいに担任が絶大な権限を有するのであります。

以下に、この1年間の座席替えの原則を言いますので、理解するように。

1・座席替えは原則的に月に1回行なう。

ちなみに、今からやるのは5月定例座席替えである。

ということは次は6月なのである。

2・座席は、よりよい学校生活、つまり一生懸命お勉強ができるためのものであるとともに、男女仲よく、またみんな仲よくするためのものである。

特に第1にはちゃんとお勉強ができるようにするためのものであり、そうでなければその座席替えは失敗であり、やり直すということです。具体的に言えば、うるさくなる人が集まるとか、ふり向いてしゃべって、緊張感をなくすとか、そんなことになれば、その座席替えは失敗ということだね。そのときにはシャッフルといいまして、その班（つまり縦1列）で座席の変更を強制執行させていただきます。

3・座席替えの権限は担任にあり。はじめに書いたように、やり方も、机の並び形も担任のお仕事である。

ふっふっふ。文句は言ってはいけないのだ。

4・座席には次の種類がある。

指定席 特急列車ならば、お金を出してわざわざ指定席券を買うところであるが、お代はいりません。担任が、「君はここ」と指定する席である。つまりその人には選択権がないのである。

ろくでもないことをやった方々には、指定席が待っております。いろいろな先生方の意見を聞いて、指定席にしたいと思しますので、心して生活するように。

中でも一番いい指定席は「担任の愛のふりそそぐ席」であり、最前列です。幸せでしょ？

とりあえずは、今後、忘れ物、提出物フースト??くらいまでのみなさんには先生のご指名を受けていただきますよう。

自由席 これが一番いい席である。なんらかの基準を決めて、それに該当する皆さんには、自分の好きな場所を好きなように選んでもらいましょう。

今月は今初めて予告したので、この後始めます。

運命席 これがその名の通り運命により決まる普通の席である。指定席でも自由席でもない人には抽選をしていただいて、席を決めていただきますよう。誰の横になるかわからない、わくわくドキドキの席であります。運命の女神様にお願いしておきましょう。

5・原則的に男女隣り合わせとする。

見たところ、このクラスは男女わけへだてなく話す人が多い。実に結構なことである。担任はこのクラスのこの雰囲気が好きだ。

で、基本的に男女隣り合わせとする。

君たちは気がつかないだろうが、異性が隣に平気で座ってくれることなんて、この後そんなにあるものではないぞ。

同姓が仲良くなるのはたやすいが、(同姓がケンカするのもまたたやすい) 異性が仲よくするのは難しい。だから君たち、男女仲よくするように。

6・座席により生活班(清掃班)となる。

基本的に縦1列を生活班とする。生活班の役割は一つは集配作業だ。朝学習の点検を縦1列でやってもらう。**MasterLife**を集め、点検するのもこの班でやってもらう。

もう一つは清掃の班である。つまり、月に1回清掃区域が変わるということである。清掃についてはこのクラスの重点的な取り組み事項である。班で役割をしっかりと決めて取り組んでもらい、責任を明確にする。ちなみに、いい加減な人は(班は)解体されて、次回の席替えでは指定席となる。

ということで、この原則で今年1年間座席替えを行ないたいと思います。

ああ、楽しみや。

コラム1 明日、4月23日、シェークスピアこの世に生まれ、この世を去る。

シェークスピアは1564年4月23日に生まれた。彼はイギリスの詩人であり、劇作家である。世界文学史上最も偉大な詩人であるが、伝記的事実は明らかではない。1590年頃から劇を書くようになり、その後20年間にわたり、戯曲37編と詩7編を書き、47歳の時に故郷(ストラトフォード=オン=エイボン)に隠退。1616年、誕生日と同じ4月23日に没した。

『ロミオとジュリエット』『ベニスの商人』『ハムレット』『オセロ』『リア王』『真夏の夜の夢』『マクベス』などはみんなも聞いたことがあるだろう。(ない?) 天才シェークスピアは、美しい言葉の中に、人間の多様性と可能性とを力強く写しだし、彼の作品を永遠のものにしたのだった。

コラム2 明日、4月23日、君たちの担任、この世に生まれ、まだこの世を去ってない。

偉大な人物ではないので、以下省略。